



5月1日 NHKのど自慢でご挨拶させていただきました

ごあいさつ

令和4年5月10日

5月に入りました。

3年ぶりに新型コロナウイルス感染症による行動制限がないゴールデンウィークでした。天候にも恵まれ、各地でもさまざまな行事が開催され、皆さんもそれぞれに過ごされたことと思います。私もいくつかの行事にお誘いいただき参加する機会があり、久しぶりに活気のあるゴールデンウィークを感じる事ができました。まだまだ「コロナ前」のにぎわいとまではいきませんが、それでも制限のある中での「楽しみ」を見出すことも大切なことです。市民の皆さんが日常の生活を楽しまれながら、さらに活躍されることを期待しております。

新規感染者数が高止まりの状況が続いており、感染への不安もありますが、マスクの着用や手洗いなどこれまで同様の基本的な感染防止対策をお願いしたいと思います。

国は新型コロナワクチンの4回目接種に向けて準備を進めています。具体的な日程など詳細についてはこれからですが、3回目を接種した60歳以上の方や基礎疾患のある方が対象の予定となっています。1回目から3回目までの経験を踏まえまして、皆さんに安心して接種いただけるように体制を整えてまいります。

5月1日、市制施行10周年の記念事業として、NHKのど自慢を開催しました。平成28年の市制施行5周年記念以来、5年ぶりに文化会館フォルテで行うことができました。コロナ禍での開催ではありましたが、運営にご尽力いただきました関係者の皆さん、そしてたくさんのご応募をいただいた皆さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。

何よりも、出演された皆さんのパワーを通して、全国に野々市の元気を発信することができたと思っております。

4月から始めた徒歩通勤も1か月が経ちました。新緑が鮮やかな季節の中、空にくっきりと映える白山や満開のツツジ、帰りには遠くで鳴くカエルの声など、歩くことであらためて気付かされる身近な景色があります。市街化が進む本市のなかで「ふるさとの風景」として、これから先の時代の子どもたちの記憶にも、ぜひとも残ってほしいものだと思います。